

札幌社保協 FAXニュース

2006年 10月17日(火)
社保協事務局 発行
Tel.823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

10月の国保・介護110番
は26日(木)です

高齢者に負担を押しつけるな！ 最低保障年金の確立を！

年金者組合
いっせい宣伝



↑大通の宣伝
←東区役所前の宣伝

札幌社保協も共同で宣伝

道年金者組合が呼びかけた「高齢者に痛みを押しつけるな！全国統一行動」が13日、札幌市内各区で行われました。札幌社保協も年金者組合との共同行動に位置づけ、大通、東区、西区などで共に宣伝を行いました。

大通で40人が宣伝

北区・白石・当別支部が合同で大通3丁目に40人が参加し、署名とピウ配布を行いました。道本部渡部委員長、北区、白石の支部長さんが「最低保障年金の確立」と「高齢者への税金などの負担増」を告発しました。

札幌社保協から斉藤事務局長ら2人も参加し、年金者組合への激励と、医療・介護・国保・福祉の負担増の実体について市民へ訴えを行いました。

通りかかったある高齢者は「この頃の政治は年寄りいじめばかりしている」と言ってカンパもしてくれました。年金署名も130筆集まりました。

東区・西区でも宣伝

東区は区役所前で宣伝・署名を行い、東区社保協から柏樹事務局長など3人が参加しました。西区は琴似ダイエー前で行い、西区社保協から横山代表など、守る会の3人が参加しました。

税金の仕組みを知って負担軽減を図ろう

10月10日、豊平社保協は東部民商の平田事務局長を講師に「大增税！怒りの学習会」を開催しました。加入団体などから35人が参加しました。

平田事務局長は「税金と社会保障」と題して税制「改革」の歴史、税金の仕組み、様々な税金控除の制度などを詳しく説明。また法人税や高額所得者の課税率がどんどん引き下げられてきて、大企業・金持ち優遇税制になっていること、低所得者に負担が大きい消費税が、輸出企業の儲け手段になっていることなどを紹介し批判しました。

参加者からは具体的な税金控除についての質問や、年金者組合の人が年金と税金・国保料・介護保険料を示して自分の負担増を紹介したり、守る会代表は国保110番にきた、国保料が払えない相談の事例などが紹介されました。

豊平社保協 大增税！怒りの学習会

